

■東北地方太平洋沖地震 地震当日の学校

(2分51秒) -映像解説-

<映像の概要>

映像は、地震発生当日の学校の様子です。大きな揺れが始まり、建物から離れるよう指示する先生、避難する生徒たちの様子がわかります。

<災害の概要>

- 平成23年(2011年)3月11日(金)、午後2時46分、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が起きました。揺れの強さを示す「震度」はもっとも強かったところで7、地震の大きさを示す「マグニチュード」は9.0となりました。

これは、これまでに日本国内で観測された中で最大です。

この地震は、大津波や余震をともない、東北地方から関東地方にかけて、大規模で深刻な災害をもたらしました。

多くの方が犠牲になり、家や仕事を失い、また漁場や農地が打撃を受けました。

この地震により亡くなった人、行方が分からなくなった人は19,578人(消防庁公式サイト「被害報」より、平成23年11月30日現在)とされていますが、その9割以上は津波によるものです。

津波は北海道から沖縄まで全国の海岸で観測されました。特に岩手県、宮城県、福島県の沿岸部では多くの方が津波にのまれ、建物が流されるというたいへんな被害をもたらしました。

また、福島県双葉郡にある東京電力福島第一原子力発電所が、この地震および津波により大きな被害を受けました。

これにより重大な原子力事故が起き、放射性物質が大気中に放出されたため、被災地をはじめ、広い地域にわたって生活に影響をもたらしています。

さらに、関東・東北地方で地面の液状化現象が発生し、千葉県、東京都といった東京湾沿岸を中心に大きな被害がありました。

いっぽうで防災や、被害を受けたあとの対策の大切さがあらためて見直されました。また、平成7年(1995年)の阪神大震災をきっかけに広まった「災害ボランティア」の活躍や、それを支援する動きが見られました。

- この高校のある宮城県仙台市青葉区では、震度6弱を観測しました。

<映像の流れ>

映像は以下の流れのとおりです。

見出し	内容
揺れが始まったときの様子 (00:00 ~00:24 付近)	駐車場にいた先生たちが揺れに気づき、声をかけあっている様子です。
揺れが大きくなっていく様子 (00:25 ~01:57 付近)	揺れが大きくなり、先生が生徒たちに、建物から離れるように指示をしています。地面にひび割れが広がっていく様子を見ることができます。
根もとから倒れた木 (01:58 ~02:05 付近)	大きな木が根もとから倒れてしまいました。
校舎のなかの様子 (02:06 ~02:51 付近)	非常ベルが鳴りひびく校舎のなかの様子です。ものが散乱しています。しばらくして余震が始まりました。

撮影日時：平成23年（2011年）3月11日 午後2時46分ごろ

撮影場所：宮城県仙台市青葉区 東北高等学校 小松島キャンパス

提供：東北高等学校